

DSP5D アップグレードガイド

このガイドでは、DSP5D の各種ファームウェアを最新にアップデートする手順を説明します。

■ 必ずお読みください

- ・ アップデート作業は、お客様ご自身の責任において行なっていただきます。
- ・ アップデートを実行する前に、必要なデータはバックアップしておいてください。
- ・ PM5D とカスケード接続している場合は、DSP5D をアップデートすると PM5D のアップデートも必要になる場合があります。互換性のある PM5D のバージョンを確認した上で、アップデート作業を行なってください。互換性のないバージョンの PM5D と DSP5D がカスケード接続されたシステムでは、「PM5D Unsupported Firmware Version.」とエラーメッセージが表示されます。
- ・ アップデート作業中に DSP5D の電源を切ったり、ケーブルを抜いたり、このガイドに記載された手順と異なった操作をしたりすると、DSP5D が故障する場合がありますのでご注意ください。
- ・ アップデート作業に失敗し、もう一度アップデート作業を実行しても DSP5D が正しく動作しない場合は、ヤマハ電気音響製品サービス拠点にお問い合わせください。
- ・ このガイドの著作権は、すべてヤマハ株式会社が所有します。
- ・ このガイドの一部、または全部を無断で複製、改変することはできません。

■ 動作環境

アップデート作業には、次のシステム構成が必要です。

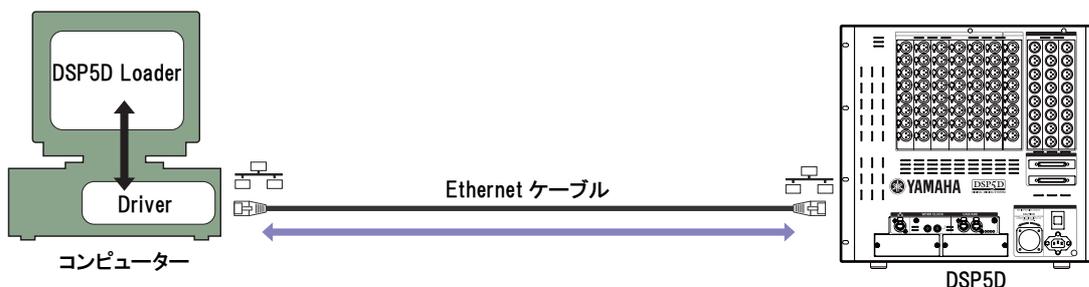
- ・ DME-N Network Driver がインストールされた LAN 端子を持つコンピューター
(動作環境について詳細は、DSP5D Editor インストールガイドをご覧ください)
- ・ Ethernet ケーブル × 1 本
(コンピューターと DSP5D を 1 対 1 で接続する場合は、クロスケーブル/ストレートケーブルのどちらでも可)

■ アップデートの準備

1. コンピューターとDSP5DをEthernetケーブルで接続します。

通常はコンピューターとDSP5DのNETWORK端子を1対1で直接接続することをおすすめします。

既にDSP5D Editorをお使いで、コンピューター(DME-N Network Driver含む)およびDSP5Dのネットワーク設定が完了している場合は、手順3に進んでください。



2. DME-N Network Driverをヤマハ プロオーディオウェブサイトからダウンロードして、インストールおよびセットアップを行ないます。

<http://proaudio.yamaha.co.jp/>

インストール方法およびセットアップ方法については、DME-N Network Driver for DSP5Dインストールガイドをご覧ください。

コンピューターとDSP5Dを1対1で接続する場合は、以下のネットワーク設定(DSP5Dは初期値)をおすすめします。

	DSP5D(初期値)	コンピューター
IP アドレス	192.168.0.129	192.168.0.3
ゲートウェイアドレス	192.168.0.1	
サブネットマスク	255.255.255.0	

3. DSP5Dの内部データをバックアップとして保存します。

アップデート終了後に、内蔵メモリーを初期化します。PM5Dのメモリーカードに保存する場合は、通常のSAVE/LOAD機能を使ってALL DATAとして保存します。DSP5D Editorを使ってコンピューターに保存することもできます。

4. 最新のファームウェアをヤマハ プロオーディオウェブサイトからダウンロードします。

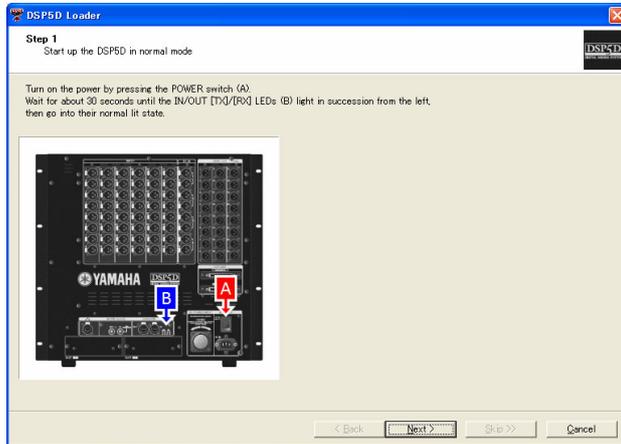
<http://proaudio.yamaha.co.jp/>

5. ダウンロードしたファイルを解凍し、「V***_Update」フォルダー(***はバージョン番号)にある「DSP5DLoader.exe」をダブルクリックして、DSP5D Loaderを起動します。

■ アップデート作業

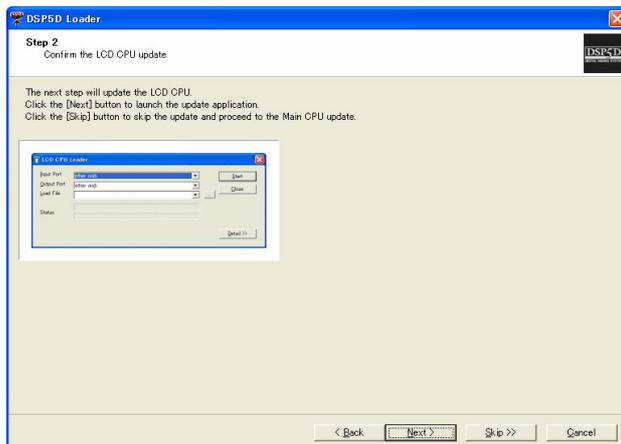
以下の手順番号は、DSP5D Loader の Step 番号に対応しています。

1. DSP5D の POWER スイッチ(A)を押して電源を入れます。IN/OUT [TX]/[RX] LED(B)が左から順に点灯して、通常の点灯状態になったのを確認してから(約 30 秒)、[Next]ボタンをクリックします。

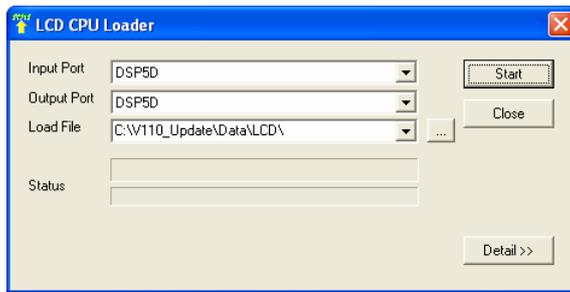


2. [Next]ボタンをクリックします。

LCD CPU はアップデートせずに、Main CPU のみアップデートする場合は、[Skip]ボタンをクリックします。



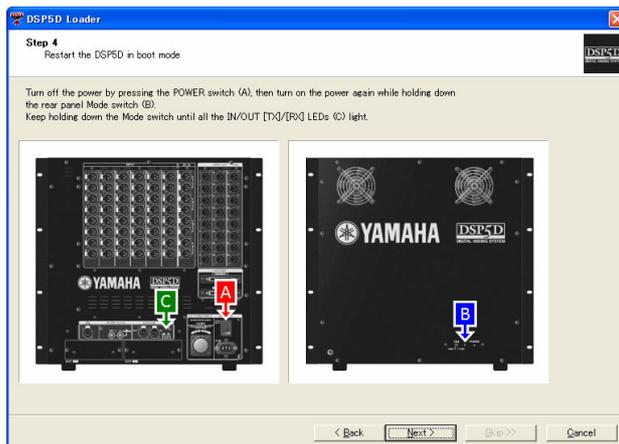
3. 以下の項目を選択し、[Start]ボタンをクリックして LCD CPU のアップデートを開始します。アップデートが終了したら「Complete」と表示されるので、[Close]ボタンをクリックします。
 - **Input Port/Output Port:** DSP5D と通信する入出力ポートを選択します。DME-N Network Driver で設定したポート名が表示されます。
 - **Load File:** LCD CPU のファームウェアの場所として、「V***_Update¥Data¥LCD」フォルダーが選択されていることを確認します。必要に応じて、[...]ボタンをクリックして正しいフォルダーを選択し直します。



NOTE: [Start]ボタンをクリックしたときにエラーメッセージが表示される場合は、以下の点をチェックしてください。

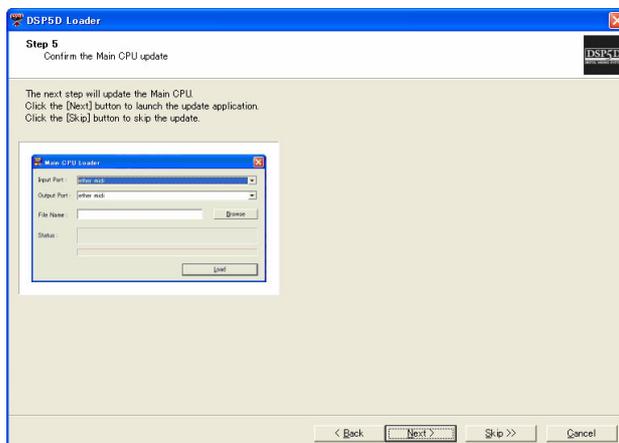
- 「Load File」欄で必要なファームウェアがそろっているフォルダーが選択されているか
- DSP5D とコンピューターが Ethernet ケーブルで接続されているか
- DSP5D の電源が入っているか
- コンピューターおよび DSP5D で、IP アドレスが正しく設定されているか
- DME-N Network Driver で、DSP5D の IP アドレスや MAC アドレスが正しく設定されているか

- 4.** DSP5D の POWER スイッチ(A)を押して電源を切り、リアパネルのモードスイッチ(B)を押しながら POWER スイッチを押して電源を入れ直します。モードスイッチは、フロントパネルの 4 つの IN/OUT [TX]/[RX] LED (C)がすべて点灯するまで押し続けます。[Next]ボタンをクリックします。



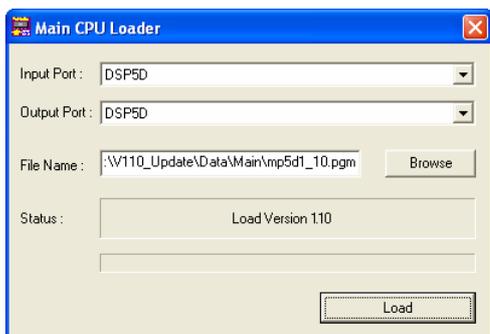
- 5.** [Next]ボタンをクリックします。

Main CPU をアップデートしない場合は、[Skip]ボタンをクリックします。

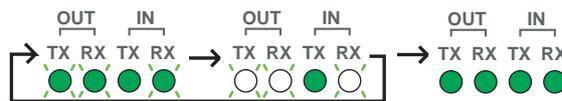


6. 以下の項目を選択し、[Load]ボタンをクリックして Main CPU のアップデートを開始します。アップデートが終了したら「Complete」と表示されるので、右上の[X](閉じる)ボタンをクリックしてダイアログボックスを閉じます。

- **Input Port/Output Port:** DSP5D と通信する入出力ポートとして、手順 3 と同じポートが選択されていることを確認します。
- **File Name:** Main CPU のファームウェアとして「V***_Update¥Data¥Main」フォルダーにある「mp5d*_**.pgm」(*_**はバージョン番号)が選択されていることを確認します。必要に応じて、[Browse]ボタンをクリックして正しいファイルを選択し直します。



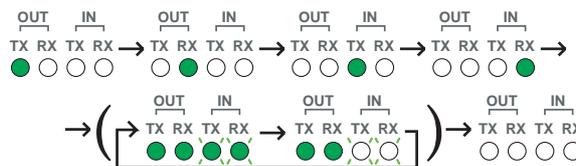
7. DSP5D の POWER スイッチ(A)を押して電源を切り、電源を入れ直します。電源を入れてから約 20 秒後にフロントパネルの 4 つの IN/OUT [TX]/[RX] LED (B)が以下のいずれかの点灯表示になりますので、すべての LED が消灯する(②)まで以下の手順に従います。



① ADファームウェアのアップデート

IN [TX] LED が点灯して、残りの 3 つの LED が点滅します。

内蔵 AD ファームウェアのアップデート中ですので、電源を切らないでください。アップデートが不要な場合はスキップされます。アップデート時間は約 5 分です。アップデートが終了すると 4 つの LED がすべて点灯しますので、電源を切ります。電源を入れ直すと LED が以下の点灯表示(②)になります。

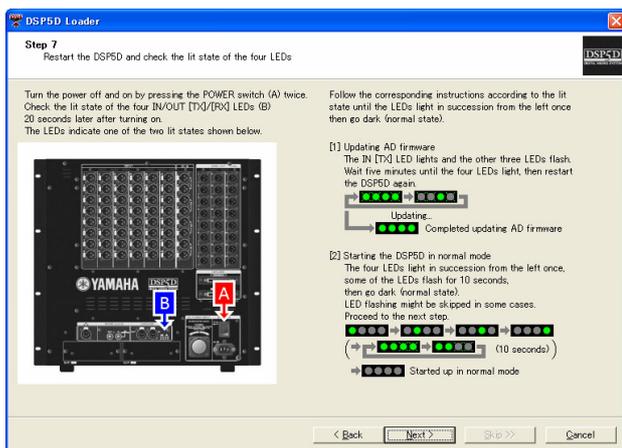


② 通常モードで起動

4 つの LED が左から順に 1 度だけ点灯し、いくつかの LED が 10 秒間点滅したあと、消灯します。

LED の点滅はスキップされる場合もあります。

通常モードで起動しました。次の手順に進んでください。



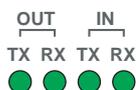
8. [Done]ボタンをクリックして、DSP5D Loader を終了します。
 アップデート作業後に、「内蔵メモリーの初期化」の手順に従って必ず初期化を行なってください。



■ 内蔵メモリーの初期化

ファームウェアをアップデートしたら、DSP5D を使用する前に必ず内蔵メモリーを初期化してください。

1. リアパネルのモードスイッチを押しながら、電源を入れます。
 フロントパネルの4つのIN/OUT [TX]/[RX] LED が点灯します。



2. 4つのLEDが点灯したら、モードスイッチを離してから、もう1度モードスイッチを5秒ほど押し続けます。
 4つのLEDが通常の点灯状態に戻ります。
3. 通常の点灯状態に戻ったら、モードスイッチを離して20秒～3分ほど待ちます。
 4つのLEDが左から順に繰り返し点灯します。



4. 一番左のOUT [TX] LED が点滅し、残りの3つのLEDが点灯する状態になったことを確認します。



5. 電源を入れ直します。

以上でアップデート作業はすべて終了しました。

必要なデータをバックアップしてある場合は、PM5D の SAVE/LOAD 機能または DSP5D Editor を使ってデータをロードしてください。また必要に応じて、正しくアップデートできたかどうか、以下の手順で現在のファームウェアのバージョンを確認できます。

■ ファームウェアバージョンの確認

PM5D から確認する場合

1. PM5D と DSP5D をカスケード接続し、CASCADE ENABLED の状態に設定します。
2. PM5D のパネル操作のコントロール対象を DSP5D に切り替えます。
3. PM5D の [UTILITY] キーを何度か押し、PREFERENCE 2 画面を表示させます。
4. SOFTWARE VERSION 欄に表示されているバージョンが正しくアップデートされていることを確認します。
カスケード接続や PM5D の操作については、PM5D V2/DSP5D 取扱説明書をご参照ください。

DSP5D Editor が起動したコンピューターから確認する場合

1. DSP5D と DSP5D Editor が起動するコンピューターを接続し、オンライン状態に設定します。
2. DSP5D Editor の [Window] メニュー → [Utility] → [Preference] を選択し、Preference ウィンドウを開きます。
3. SOFTWARE VERSION 欄に表示されているバージョンが正しくアップデートされていることを確認します。
DSP5D Editor のインストール、設定、操作については、DSP5D Editor インストールガイドおよび PM5DV2/DSP5D Editor 取扱説明書をご参照ください。

Yamaha Corporation, All Rights Reserved.

B0

© 2007 Yamaha Corporation